

それゆけ！ としょかんだより



2008年12月
第21号

発行所
高野山大学図書館
閲覧室

図書館ミニコンサート



演奏曲

1. Departure (押尾コータロー)
2. オーロラ (押尾コータロー)
3. 翼～you are the HERO～ (押尾コータロー)
4. Drifting (Andy McKee)
5. 戦場のメリークリスマス (押尾コータロー)
(Merry Christmas Mr. Lawrence)
6. 家路 (押尾コータロー)

12月8日に図書館でミニコンサートを開催しました。
演奏してくれたのは1回生の伊藤 陽馬さん。
お昼の短い時間で、アクシデントもありましたが、
多数の人たちが来てくださいました。

ミニコンサートは大成功でした。ありがとうございます！

図書館からのお知らせ

ミニ企画コーナー

今回のテーマは「卒論完成に向けて」卒論の締切まであとわずかになってきましたね。
完成までのラストパートに少しでも追い風になりますように。
頑張ってください。

図書館閉館期間の変更

図書館の年末年始の閉館期間が変わりましたのでお知らせします。
期間は

12/26(金)～1/6(火)

に変更になりました。ご注意ください

全国書店売上
BEST10! Yahoo! ブックス
毎月1日のランキ
ングです。

12月

1. 『あたしんち 14』
2. 『聖女の救済』
3. 『東大合格者のノートは
かならず美しい 徹底
分析二〇〇冊』
4. 『ガリレオの苦悩』
5. 『竹中式マトリクス勉強
法』
6. 『流星の絆』
7. 『イノセント・ゲリラの
祝祭』
8. 『悩むカ』
9. 『夢をかなえるゾウ』
10. 『O型自分の説明書』

2008年12月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

2008年1月の開館予定表

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
28	29	30	31	1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31
	9:00-18:00				13:00-18:00	
	9:00-17:00				13:00-17:00	
	9:00-12:00				閉館	
	9:30-16:30				13:00-16:30	

切り取り

今月のおすすめ図書！

※今月は前谷 彰先生のおすすめです。

住宅顕信 著 句集『未完成』(春陽堂書店,2003年2月)

請求記号:623/ミ/4

皆さんは、住宅^{すみたかくんしん}顕信という天才・奇才を知っていますか。彼の本名は住宅春美で、昭和36年、弘法大師ご入場の日とされている3月21日に岡山市に誕生します。少年時代は漫画を描くことが好きで、将来は漫画家になりたいと思っていたが、中学卒業後は下田の調理師学校に入学し、同時に岡山会館に勤務することになります。彼はその年(15歳)に、5歳年上の河本ヨキエと知り合い、その頃から詩書、宗教書、哲学書に親しむようになり、19歳で岡山市役所環境事業部第2事業所に本採用されます。仕事の傍ら仏教書を熱心に読み、21歳の9月から中央仏教院の通信教育を受講し、翌年4月に修了して同年7月に京都西本願寺で出家得度しますが、その時の法名が顕信なのです。同年10月には1歳年下女性と結婚し、自宅の一部を改装して無量寿庵という仏間をつくります。こうして半僧反俗の生活を送ることになったのですが、翌年23歳の年に急性骨髄炎性白血病のため、岡山市市民病院に入院することになります。その年の6月には長男春樹が誕生しますが、顕信の病気が理由で妻の実家から離婚を要求されたため、彼は春樹を引き取り病室で育児をするという絶望の中で俳句の創作に没頭します。そして、彼は25歳と10ヶ月の生涯を閉じるまで俳句を作り続けたが、句集『未完成』は迫り来る死に敢然と立ち向かい、静かに句作を続けた顕信のスピリチュアリティが赤裸々に吐露された、現代自由律俳句の傑作と言っても過言ではありません。

この句集は顕信がこの世を去るまでの約1年半の間親交を深めた、現在岡山大学県境理工学部教授の池畑秀一氏らの尽力によって、昭和63年に顕信が敬愛して止まなかった尾崎放哉の句集『尾崎放哉全集』の版元である元彌書房から出版されたものです。すると、出版直後から顕信の俳句は若手気鋭俳人たちの間でさぶる話題となり、その後高等学校の国語教科書などで取り上げられるまでになっていたところ、精神科医の香山リカ氏の働きかけによって中央公論社から連続して3冊も顕信関連の書籍が出版されることになったのです。

ちなみに、その3冊は『住宅顕信読本 若さとはこんな淋しい春なのか』、俳句絵本『ずぶぬれて犬ころ』、『いつかまた会える 顕信 人生を駆け抜けた詩人』ですが、まずはこの句集『未完成』から読んで行くのがいいと思います。値段は840円(税別)と安価ですから、入手しやすいでしょう。そこで、今はこの句集から3句を紹介しておきましょう。

夜が淋しくて誰かが笑いはじめた

若さとはこんな淋しい春なのか

かあちゃんが言えて母のない子よ

今月の…ぴか！



今回はお休みです。次回をお楽しみください



(編集後記) そろそろ今年も終わりですね。年末は沢山のイベントがあって楽しいけれど、その分いろいろと忙しいものです。いい一年でしたか？(吉)

発行所

〒648-0280 和歌山県伊都郡高野町高野山385 高野山大学図書館 閲覧室

Tel:0736-56-3835 / Fax:0736-56-5590 /

E-mail:service-lib@koyasan-u.ac.jp